

令和2年度 特別養護老人ホーム白滝荘 事業報告書

1 運営方針について

特別養護老人ホーム 白滝荘は、「和氣笑顔」を施設の運営方針として、入所者及び利用者と職員が馴染みの関係を築き、穏やかで心の通う温かみのある施設を目指して来た。コロナ禍においても、施設の中で出来る事を考え、行事の規模を縮小したり、やり方を工夫して、楽しみのある生活を送って頂けるように支援した。

また、地域貢献としては、新型コロナの流行を注視しながら、田耕の八城サロンに、回数を減らして職員を派遣した。地域行事も中止の場合が多く、これまでのように地域の行事に職員を派遣したり、施設を地域に開放するといった形の地域貢献が、今年度はほとんど出来なかった。

2 事業目標評価について

(1) 生活援助係（介護）の評価

1番館は、コロナ禍の中でも誕生会やミニ夏祭り等で、入所者の方が楽しんで頂ける行事を実施し、和やかな雰囲気を作る事が出来た。また、入所者と職員と一緒に貼り絵や折り紙等を飾り、楽しめる壁面作りを行ったり、季節の花を絶やさないようにするなどして、単調になりがちな生活の中に彩を添える取り組みを行った。その反面、センサーマットを使用したにもかかわらず転倒事故が目立ち、転倒事故をいかに減らすかが、来年度の課題である。

2番館は、誕生会を随時行い、入所者の方にも喜んで頂けたと感じている。また、2番館は活動的な入所者が多いが、職員同士協力して、声を掛け合いながら事故防止に努めた。

(2) 生活援助係（医務）の評価

医療の専門職として、新型コロナ感染症の施設内流行が見られず、安心している。日々、入所者の検温や健康管理を実施し、小さな気づきを見逃さないよう、他部署からの情報収集や連携に努めた。短期入所利用者の入所時には、玄関で手指消毒やバイタルチェックを行い、異常の早期発見や感染予防等、利用者の安心に繋がる取り組みを行った。

(3) 給食調理係の評価

材料費が高騰する中で、食材料や献立を工夫する事で、単価を抑える事が出来た。また、ソフト食の第一歩としてゼリー粥に取り組むことが出来たので、来年度は、また次の課題に取り組んで行きたい。

(4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

他部署と共同し、自分らしく生活できるようなケアプラン作りを心掛けた。また、入所者が退院して戻られた際にはカンファレンスを開催し、各部署が共通認識を持ったケアを行い、退院後の生活がより安心したものになるように働きかけた。

(5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

普段の生活の中で実施できる生活リハビリを中心に計画する事で、介護職員も気軽に機能訓練に取り組むことが出来るようにした。また、カンファレンスにおいては、専門

的な立場から身体機能低下に繋がるようなアドバイスを行い、入所者個々の能力を最大限に生かすように心掛けた。

(6) 生活相談員の評価

コロナ禍の閉塞感の中でも、入所者の方に今までの生活を感じて頂けるような取り組みとしてオンライン面会を実施し、家族とのつながりを感じて頂いた。また、短期入所に関しては、生活相談員としての「つなぐ役割」として、在宅での利用者情報をケアマネや他事業所から収集し、その情報を介護現場の職員に積極的に発信した。また家族からの相談に対しては、真摯に向き合い家族の不安感除去に努めた。

(7) 総務係の評価

財政面では毎月の収支を見ながら慎重に対応した。接遇の面においてはコロナ禍の中で面会が制限された為、電話対応が多かったが、丁寧な言葉遣いで誠意のある対応を心掛けた。また、オンライン面会が導入され、入所者、家族双方が安心出来るように積極的に協力した。

3 その他

(1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開催日	出席者
運 営 会 議	施設全体の方向性の確認、行事の確認等	毎月1回	施設長、生活課長、居宅管理者、総務主任、生活相談員
調 整 会 議	施設全体の方向性の確認	11, 3月	施設長、生活課長、居宅管理者、介護・医務・栄養士、総務等、介護支援専門員、生活相談員
リ ー ダ ー 会 議	各部署からの連絡、確認	毎月1回	生活課長、介護・医務・栄養士等、介護支援専門員、生活相談員
職 員 会 議	主な研修報告、施設内研修、事務連絡等	6, 8, 10, 12, 3月	全職員対象
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3月	第三者委員代表、理事長、施設長、介護支援専門員、医務職員、介護福祉士、生活相談員
サービス担当者会議	ケアプランの確認	随時	生活課長、介護支援専門員、医務職員、機能訓練指導員、介護職員、管理栄養士
番 館 会 議	入所者のケアについて	月1回	介護職員
各 種 委 員 会	感染症対策委員会	偶数月第1金曜	生活課長、栄養士、生活相談員、看護職員・介護職員の代表者
	褥瘡予防委員会		
	事故予防委員会	奇数月第1金曜	生活課長、生活相談員、看護職員・介護職員の代表者
	身体拘束委員会		
喀痰吸引等の安全委員会			
排 泄 委 員 会	入所者の排泄の見直し等	年7回	生活課長、看護職員、介護職員
相 談 員 会 議	各施設の連絡、確認	6, 9, 12月	法人内の各施設の生活相談員

感染症について

年度初めから家族の面会制限、業者の立ち入り制限を行った。職員に対しては、始業時の健康チェックと検温を義務付け、体調不良のまま業務を行う事のないように、また、入所者・短期入所の利用者に関しては、毎日の検温や健康観察を行う等の感染症対策を徹底した。その他にも、換気、マスクの徹底、手指消毒、業務中のアルコール携帯を行った事で、新型コロナウイルス感染症以外のインフルエンザや、ノロウイルス等の他の感染症流行も見られなかった。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関 連 行 事	ボランティア
4			
5			
6	夜勤職員健康診断 害虫駆除	入所検討委員会	田耕振興草刈り作業
7	そうめん流し		
8	ミニ夏祭り、盆法要	避難訓練	
9	敬老会	入所検討委員会	妙久寺草取りボランテ ィア
10	ミニドライブ	入所者結核検診	
11	法話	入所者予防接種 職員検診 ストレスチェック	
12	餅つき、お楽しみ会 害虫駆除	入所検討委員会 避難訓練	
1	元日行事、鏡開き		
2			
3	下関市長選挙及び下関市議 会議員補欠選挙の不在者投 票 辞令交付、彼岸法要	防災訓練（地震想定） 入所検討委員会	下関北高校ボランティ ア
備 考	・美容の日（第2月曜・1,500円）		
	・喫茶開設（毎月第1火曜、第3金曜）		
	・さくらサロン、しあわせサロン（第1, 3木曜日の年10回）		

(3) 職員数と令和2年度中における異動（令和3年3月31日現在）

区分 職種		現員 (人)	令和2年度中における異動			
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)
正職員	施設長	1				
	事務職員	2			1	1
	生活相談員	1				
	介護職員	15	1		1	
	介護支援専門員	1				
	看護職員	3				
	管理栄養士	1				
	栄養士	1				
	調理員	2				
常勤職員	介護職員	7				2
	看護職員	1				
	機能訓練指導員	1				
	調理員	3				
非常勤職員	介護職員	9	1	1	1	
	看護職員	1	2			
	調理員	2				
	介護補助員	3				
	宿日直員	3				
	嘱託医師	1				
	合計	58	4	1	3	3

(4) 主な帳簿

種別	記録事項
業務日誌	業務全般に関わる記録
介護職員日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入居者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入居者の日々の記録
看護職員日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
調理職員日誌	調理に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの

(5) 実績

特養(定員 60 名)

延べ人数(日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実績	1,256	1,310	1,209	1,221	1,299	1,225	1,233	1,290	1,351	1,370	1,202	1,272	15,238
	利用率	69.7	70.4	67.1	65.6	69.8	68.0	66.2	71.6	72.6	73.6	71.5	68.3	69.5
令和元年度	実績	1,367	1,398	1,298	1,411	1,503	1,441	1,433	1,412	1,399	1,349	1,171	1,317	16,499
	利用率	75.9	75.1	72.1	75.8	80.8	80.0	77.0	78.4	75.2	72.5	67.2	70.8	75.1

昨年度1年間で10名の退所があった。性別の内訳としては、男性1名、女性9名となっている。また、退所理由については、医療機関に長期入院のためが6名、死亡原因が老衰のためが4名となっている
平均介護度は、令和元年度と同じ3.9だった。

短期入所(定員 19 名)

延べ人数(日数×人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	実績	204	210	192	206	241	200	206	177	183	165	180	166	2,330
	利用率	35.7	35.6	33.6	34.9	40.9	35.0	34.9	31.0	31.0	28.0	33.8	28.1	33.5
令和元年度	実績	191	226	188	197	179	197	217	171	219	234	157	198	2,374
	利用率	33.5	38.3	32.9	33.4	30.3	34.5	36.8	30.0	37.1	39.7	28.4	33.6	34.1

年間を通して、短期入所の利用者が施設入所になるケースが目立ち、利用率が徐々に低下している原因の一つと考える。

(6) 本入所の状況 (令和3年3月31日現在)

地域別	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	令和2年度の入退所者		
				入所 (人)	退所 (人)	差異 (人)
豊北町	3	31	34	7	9	-2
豊浦町	0	1	1	0	1	-1
豊田町	0	5	5	0	0	0
その他	0	2	2	0	0	0
合 計	3	39	42	7	10	-3

年齢別	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)	最高年齢 男 88歳 女 101歳 最少年齢 男 86歳 女 57歳 性別平均年齢 男 87.8歳 女 89.0歳 平均年齢 88.9歳
～70歳	0	2	2	5.0	
71～80歳	0	2	2	5.0	
81～90歳	3	12	15	36.0	
91～100歳	0	22	22	52.0	
101歳～	0	1	1	2.0	
合 計	3	39	42	100.0	

区 分	男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	割合 (%)	
食 事	自 立	2	15	17	40.0
	一部介助	1	8	9	21.0
	全面介助	0	16	16	39.0
排 泄	自 立	0	0	0	0.00
	一部介助	1	14	15	36.0
	全面介助	2	25	27	64.0
入 浴	一 般 浴	0	2	2	5.0
	特 殊 浴	3	37	40	95.0

(7) 平均栄養量及び給食単価

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの平均栄養量 及び給食単価	令和2年度実績	1,446kcal	経口	685円
		900kcal	経管	722円
	令和元年度実績	1,454kcal	経口	723円
		900kcal	経管	728円

(8) 下関市要介護認定調査業務(下関市委託業務)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

(9) 施設外研修

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	介 護 職 員	看 護 職 員	栄 養 士	調 理 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員
介護支援専門員更新研修	9/22、10/15 11/13			1						
高齢者施設の感染対策 (オンライン研修)	2/25			1	3	1	1		1	
介護報酬改正 (オンライン研修)	3/1	1		1						
介護報酬改正セミナー (オンライン研修)	3/4	1		1						
介護報酬改定(栄養関連)研修会 (オンライン研修)	3/22						1			
BCP(業務継続計画)について (オンライン研修)	3/29			1	3	1	1			
会計研修 (オンライン研修)	1/27 1/29 2/1 2/2		2							

新型コロナウイルス感染症流行に伴って、予定した研修が中止になる事が多かった。
また、研修の実施方法もオンライン研修が多くなり、これからは逆に研修参加の機会が増えるのではないかと考えている。